

東大特進英語

担当講師

東進ハイスクール講師

宮崎 尊 先生

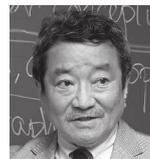
年間の目標を設定する。(90分×2回)

t-POD

東大英語の概観を通して、まず東大が求めている英語力のレベルとタイプを理解する。
年間の目標を設定する。

主な学習項目 1. 東大英語問題の概略 2. 英語リーディングの要点と目標 3. 英文ライティング訓練法

担当講師より一言 1年後に自分がどこまで行っていれば東大に合格できるのか、さまざまな具体例で説明します。



東大特進数学

担当講師

東進ハイスクール講師

長岡 恭史 先生

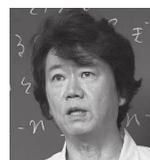
“基本≠易”に気付くことが大切 (90分×3回)

t-POD

極少数の^{つわもの}強者と大多数の発展途上の諸君とでは、現時点での学力差(各テストにおける点数差)は著しく大きいのが現実である。とはいえ、まだ高2、数学の学習において正しい考え方の習得が必須であることはいうまでもない。今回のプレ講座では、この時期に経験すべき問題をコンパクトかつ集中的な形で提供し、多角的アプローチを通してマスターすべき最小限の“基本と常識”の理解を目標とする。

主な学習項目 数学Ⅰ・A／Ⅱ・B 東大数学対策への第一歩

担当講師より一言 高校2年生のこの時期に、いわゆる“基本”(≠易)を知ることは、やる気のあるこれからだという諸君への今後のさらなる飛躍につながるものと確信する。「東大特進数学って何?」という諸君、WEB上で会おう!



東大数学

担当講師

東進ハイスクール講師

志田 晶 先生

論理的に考える習慣をつけよう! (90分×2回)

t-POD

東大数学を攻略するには、知識や計算力、発想力などさまざまなものが必要です。その中でも合否のカギを握るのは正しく論理展開できる力です。この講座では論理的に考えるということはどういうことかを説明し、諸君が今後の勉強において論理的に物事をとらえられる力を養成します。

主な学習項目 数学Ⅰ・A、Ⅱ・B(確率、整数、数列中心)

担当講師より一言 考えることを放棄したら、数学はおしまいである!!とにかくとことん考えること!!



トップレベル数学マスタークラス(理系)

担当講師

東進ハイスクール講師

宮嶋 俊和 先生

考える力を伸ばすための研究的講義 (90分×2回)

t-POD

数学の学力を強化するためには、素朴なテーマを定めて、そこから見つけた問題を徹底的に研究してみるのが一番良い。そうしたチャンスを根幹の講義で提供する。

主な学習項目 総合分野

担当講師より一言 今回は総合分野から難問を選びその研究の仕方を解説する。そこで、問題を解くための発想と方法を深く追及していく。



プレ講座 講座紹介

数学の真髄

担当講師

東進ハイスクール講師

青木 純二 先生

普通の人が東大に合格するために今始めるべきことを伝えます (90分×2回)

t-POD



東大合格者の中には「中3で数Ⅲまで終わった!」「数学オリンピックでメダルを取った!」「全国模試で〇位になった!」などのツワモノがたくさんいます。しかし、何か特別な勉強をしているわけでもない普通の人もたくさん合格しています。このコースでの私の仕事は「賢くなりたいと思っている意欲的な普通の生徒を東大合格圏内まで引っ張り上げること」だと思っています。おそらくツワモノには不向きです。教科書にとらわれない確かな知識、確かな論理、確かな発想法を身に着けることに主眼を置いて演習を行います。テストゼミ以外、予習は必須です。

主な学習項目

心構えについて
整数の論証

担当講師より一言

東大合格圏内に入るために、一年間何を考えて数学と向き合っていくべきかを伝えます。また、合同式・互除法・素数の性質などを確認し、整数分野の克服を目指します。

東大現代文

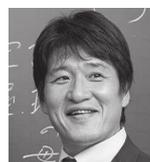
担当講師

東進ハイスクール講師

林 修 先生

東大現代文の「ゴール」を見据えて～合格のための学習イメージを形成せよ～ (90分×2回)

t-POD



主な学習項目

1. 構造的理解のための基礎確認 2. 過去問を用いた記述力強化演習

添削付

担当講師より一言

現代文という科目に関してさまざまな声を耳にします。「何をやっていいかわからない」「やるだけ時間の無駄」「何もやらなかった」etc.しかし、実際開示された結果を見ると思った以上に差がついているのがこの科目です。つまり、この科目において大学側が受験生に対して要求している能力がかなるものを正しく伝える「通訳」不在のままに、受験生たちに無用な負担をかけて進むべき道を見失わせている、これが現状なのです。この講義では、まず基本レベルの問題を用いて、現代文という科目における「構造的理解」の基本を皆さんに示したうえで、東大の過去問にチャレンジしてもらいます。東大の過去問とは、皆さんにとってはいわば、学習の「ゴール」です。その「ゴール」との距離を認識できれば、今後の学習の方向性がある程度見えてくるはずです。この講座は、単に点数を上げるといった近視眼的な目標のためではなく、ここからおよそ一年に及ぶ学習の「指針」を皆さんに示すことを目指しています。その効果を最大化するためにも、これ以上ない真剣な予習を経て講義に臨んでください。

※東進ハイスクール・東進衛星予備校で「高2ハイレベル現代文トレーニング」を受講される方は、本講座の第1講と出典が重複致します(第2講は出典の重複はございません)。ご了承の程宜しくお願い申し上げます。

東大古文

担当講師

東進ハイスクール講師

栗原 隆 先生

「東大古文」競技規定! (講義90分×2回+添削演習30分(*テスト形式 講義終了後に実施))

t-POD



「東大古文」では、何が要求されているのでしょうか? まずは、「東大古文」のルールと、「東大古文」の勉強法についてお話しします。

主な学習項目

記述型の問題はどのように採点されているのでしょうか? 「東大古文」に何が
必要か考えてもらうことによって、今後の学習方針を認識していただきます。

添削付

担当講師より一言

出題者はいかなる観点から設問を作っているのか、また採点官はどこを見て採点しているのか。まずここから考えなければなりません。東大の古文は、ある論理に基づいて組み立てられた良問です。文献を分析し、検証し、解釈する方法と能力を備えることこそが、「東大古文」対策であり、勉強法であると認識してください。あなた自身の手で「解き明かす」ことが重要です。この講座で課す予習と「添削演習」は大変な作業かもしれませんが、必ずやあなたの「解釈する力」を鍛えるでしょう!

※講義90分×2回の講義終了後30分間のテスト形式で行う「添削演習」を実施いたします。

答えは「添削演習」終了後即回収し、栗原隆先生に添削いただき返却いたします。

東大物理

担当講師

東進ハイスクール講師

苑田 尚之 先生

古典物理学の世界観とその表現方法としての運動学の完全理解へ (90分×3回)

t-POD



物理学という宇宙の根源を探究する学問の美しさと魅力を実感してもらいたい。春、6月、夏、秋、冬、直前の限られた時間を知的感動と自然界の神秘に触れる喜びに溢れた時間に昇華させようと思う。

主な学習項目

1. 古典物理学の世界観 2. 微分法と積分法
3. 運動学

担当講師より一言

大学入学後の物理学を見据えてこの美しき学問と真正面から対峙してみよう。受講者の中から物理学を志す人や物理学に興味をもつ人が一人でも増えることを願って今年も授業を進めていきます。

東大化学

担当講師

東進ハイスクール講師

大西 哲男 先生

化学の理論の根底にあるものをつかみとろう。(90分×2回)

t-POD



化学の理論には「構造の理論」、「状態の理論」、「溶液の理論」、「反応の理論」という4つの柱があります。この講座で扱う内容は、「反応の理論」のさわりだけですが、すべての理論の土台となる内容でもあります。ここをしっかりと理解しておくことで、今後の学習の見通しがよくなります。

主な学習項目 1. 微粒子のもつエネルギー 2. エネルギーと乱雑さ
3. 熱化学

担当講師より一言 物質を構成する粒は「集まろうとする勢い」と「拡がろうとする勢い」をもっていて、これらの兼ね合いで物質の姿は決まっています。これが化学の理論の根底にあるものです。高校化学で熱化学を学習する意味がきちんとわかれば、これまでの疑問に思っていたことのいくつかが解決するでしょう。

東大特進化学

担当講師

東進ハイスクール講師

鎌田 真彰 先生

東大入試ガイダンス (90分×1回)

t-POD



通常の講座とは異なった順ではありますが、基本事項を再確認しながら、東大入試で時間内に高得点を取るために必要な力と技術が身につくように講義していきます。

主な学習項目 東大入試ガイダンス

担当講師より一言 本格的に入試対策に入る前に、東京大学の入試では、どのような力が必要で、何をどのように勉強していけばよいか最初に伝えます。

東大生物

担当講師

東進ハイスクール講師

飯田 高明 先生

東大合格への効率的な学習方法の伝授 (90分×2回)

t-POD



東大合格へ意気込むこの時期、ただやみくもに勉強しては効率が悪いです。東大の問題は独特で、真の学力がないと、高得点が望めないようにできています。この講座では、東大入試の特徴、傾向を分析することで、必要な学力とは何か、どのような対策をとればよいかなどを、東大の過去問などを用いて解説します。

主な学習項目 頻出となる遺伝子、代謝、植物、生態を扱います。

添削付

担当講師より一言 いよいよ東大生物がスタートします。これから約1年間の長丁場、できるだけわかりやすく、そして楽しく、かつ真剣な講義を展開しようと思います。東大合格にむけて一緒にがんばっていきましょう。

東大世界史

担当講師

東進ハイスクール講師

荒巻 豊志 先生

東大の世界史の出題の仕方に慣れ、焦点のボケた学習をしないようにする。(90分×3回)

t-POD



東京大学では過去にいかなる問題が出題されたのか。最高の学習方法は過去問からしっかりと学ぶことである。ただ、解ければよいのではない。それらを通じて歴史を学ぶ意識を高めていくこと。強大な構築物である世界の歴史を最初からつまづかないために必ずおささなければならぬところをたたくこみず。

主な学習項目 紀元前の世界

担当講師より一言 短い1年の出発点としてしっかりと学習してください。授業を聞いて学ぶのではなく、予習をしたうえで授業を受講してください。学ぶのはあなた自身で、僕はそのお手伝いをするだけです。この教科は人に頼っては絶対に力につきません。

プレ講座 講座紹介

東大日本史

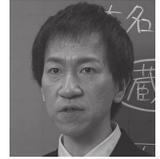
担当講師

東進ハイスクール講師

山中 裕典 先生

東大日本史の問題を解く「姿勢」を身につける (90分×2回)

t-POD



論述式問題の解法について、設問文の要求に正面から答えるための姿勢を提示します。次に、東大日本史の傾向について、出題リストを用いながら内容面と形式面について説明します。さらに、東大日本史の解法について、過去問を用いて解説し、今後の学習方法などについて明示します。提出課題の答案を作成してから授業に臨んでください。

主な学習項目

1. 論述式問題の解法
2. 東大日本史の傾向 (出題リスト)
3. 東大日本史の解法 (過去問)

添削付

担当講師より一言

「知っているつもり」の事でも、それを的確に説明することは難しい。バラバラの知識をつなげて理解を深めることや、設問の要求を正確に読み取り手際よく簡潔に表現することは、とても刺激的で、チャレンジに値することです。この講座を通して、受講生の皆さんが歴史的事象への考えを深め、解答作成の面白さを実感できるようになることを願っています。

東大地理特講

担当講師

東進ハイスクール講師

村瀬 哲史 先生

東大地理攻略への大圏航路 (90分×2回)

t-POD



論述問題の題意の把握、統計図表の読み取り問題を正しく速く解く手順など、東大地理をはじめるとあって心掛けてもらいたいことを講義します。

主な学習項目

日本地誌～日本の産業、人口、都市～

担当講師より一言

地理にかかる時間はあまりないと思います。少ない時間で効率良く合格点をとるためには、「何でそうなのか」を授業中に理解することです。一度しっかり理解できたことはなかなか忘れませんよ。東大地理攻略への大圏航路(最短コース)を共に走っていきましょう。

【t-POD受講システムとは?】 ※t-POD受講を申し込みされる方は必ずご確認ください。

「t-POD受講システム」とは、「Toshin Preparatory school On Demand」の略で「受けたいときにいつでも東進の授業を自宅などパソコン環境がある場所で簡単に受けられる」システムです。受講マニュアルを申込後に送付します。

1. t-POD受講システムを利用するためのPC環境

- ①インターネット接続環境:光回線・ADSL・ケーブルテレビ(CATV)など常時接続型の高速インターネット接続サービス(実行速度3Mbps以上)。無線接続(無線LAN・Wifiサービス・WiMAX・3G・LTE(4G)等)を利用した接続)での動作保証はできません。
- ②OS: Windows7/Windows8.1/Windows10(注)
※Windows10をご利用の場合、Internet Explorerを使用することで正常に動作します。
Microsoft Edgeをご利用の場合、正常に動作しませんのでご注意ください。
- ③CPU(プロセッサ): Intel(R) Core i3以上のCPUを推奨
- ④メモリ: 2GB以上(4GB以上を推奨)
- ⑤ハードディスク空き容量: システムドライブの空き容量100MB以上
- ⑥ブラウザ: Internet Explorer 11
- ⑦必要なソフトウェア: AdobeReader バージョン11以降、Microsoft Silverlightバージョン5

2. タブレット・スマートフォンでの動作環境

講座受講には専用アプリのダウンロードが必要です。

- ①インターネット接続環境: 安定して1Mbps以上が出る環境
 - ②OS: Android4.3以降/iOS8.0以降のタブレット/スマートフォン
 - ③ブラウザ: Androidの場合→Google Chrome iPad/iPhoneの場合→Safari
- (注1) Apple, Google等から、アップデートとして提供されるOS、ブラウザ、ソフトウェアの最新版への対応状況につきましては、随時学力POS上にてお知らせいたします。
(注2) Androidにつきましては、メーカー、機種により十分に動作しない場合がございます。動作検証外の機種の場合、稀に正常に動作しない点が発生する可能性もございますが、保証外となりますのであらかじめご了承ください。なお、現在はASUS Nexus7にて動作検証を実施しております。

第 I 期講座 講座紹介

東大特進英語

担当講師

東進ハイスクール講師

宮崎 尊 先生

この春、東大英語の特徴とレベルを実感する。東大合格までのオリエンテーション (90分×4回)

t-POD



東大英語の特徴とレベルを知ってください。具体的にはどの程度の英語力なのかを実感してもらいます。小さなクイズを積み上げていくタイプの授業です。これは同時に、東大合格までの年間オリエンテーションでもあります。

主な学習項目

1. 二種の英文の読み方
・factual と rhetorical, literal と figurative の違いを知る。
2. 速読について
・論述の構造を知る。・リーディング法を身につける。
3. 口語の英語
・基本語の考え方。

担当講師より一言

東大に合格する諸君を毎年見えています、共通点として「有能さ」を感じます。才能はある程度先天的なものです、自分の才能を上手に伸ばし発揮する有能さは後天的に身につけられる資質で、後々も大きな財産となるものです。英語学習における有能さとは何かをお話したいと思います。

※新規受講生は事前に『ブレ講座』の「東大特進英語」を受講のうえ授業をご受講ください。

東大特進数学

担当講師

東進ハイスクール講師

長岡 恭史 先生

数学の基本とは何か、何であるべきか

文系数学 (90分×2回)
理系数学 (90分×4回)

t-POD



高校数学における論理的部分は重要であるが、通常取り立てて扱う場面がないため意識せずに通り過ぎてしまうことが多い。本講座では、その修得しなければならない最小限を凝縮して示すとともに、その最重要ポイントの徹底した理解を目指す。なお、今回の春期集中講座からは、各問題に実力を効率的に付けるための「REV」(復習用自習問題)とその解答が用意されている。これから、真剣に数学に取り組む、または、すでに強者である諸君にとっても(ブレ同様、基本≒易)有益な教材になると確信している。

主な学習項目

- PART (I) : 同値性と存在条件+ α (理文共通)
PART (II) : 理系微積分への展望 (理系数学)

担当講師より一言

“こうやれば解ける”という数学教育に少しでも疑問を感じ“なぜ解けるのか”ということに少しでも興味をもつ東大志望者諸君！ 多少の困難に屈することのない精神力とやる気を持って臨んでほしい。WEB上で会おう！

※新規受講生は事前に『ブレ講座』の「東大特進数学」を受講のうえ授業をご受講ください。

トップレベル数学マスタークラス(理系)

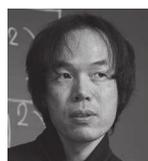
担当講師

東進ハイスクール講師

宮嶋 俊和 先生

数学の力をつけるための実戦的問題研究 (90分×4回)

t-POD



総合的な視野に立って、標準レベルから難問レベルまでの攻略の仕方を、様々な分野にまたいで解説する。特に難しい問題から得点を獲得するための、問題に対する着目の仕方を重要視する講義を行う。

主な学習項目

総合分野

担当講師より一言

標準的なレベルの問題に対しては、改めて解説は必要なくても、より高いレベルの問題となると、その攻略の仕方に自信が持てない人もいます。この講義でその不安感を取り除いてほしい。

※新規受講生は事前に『ブレ講座』の「トップレベル数学マスタークラス」を受講のうえ授業をご受講ください。

数学の真髄

担当講師

東進ハイスクール講師

青木 純二 先生

論理的に考えることから決して逃げてはいけない! (90分×6回)

t-POD



「解法を覚えていなくても考えれば解ける!」という人にならなければ、東大レベルに達することは不可能です。その基本をここで完成させましょう。

主な学習項目

数列の和、漸化式、場合の数、確率

担当講師より一言

数列の和の原理、漸化式の特性方程式の意味を確認し、それを場合の数や確率の問題に活かす訓練をします。

※新規受講生は事前に『ブレ講座』の「数学の真髄」を受講のうえ授業をご受講ください。

第 I 期講座 講座紹介

東大現代文

担当講師

東進ハイスクール講師

林 修 先生

この春に知る——東大合格への「全工程」(90分×4回)

t-POD



現代文という科目は(少なくとも東大入試においては)、皆さんが言語情報をどう理解し、どう整理することができるか、思い切った言い方をすれば、皆さんの「頭の動かし方」そのものを問う、ある意味「恐ろしい」科目です。だから、講習に少し参加するくらいで、根本的な解決策など身につけようがないのです。ならば、受講は無意味なんでしょうか？この講義で皆さんにお伝えするのは、東大合格に至るまでの現代文という科目における、「妥当な頭の動かし方」がいかなるものなのかということです。そして、そういう「頭の動かし方」によってどう世界が見えるか、というところまで踏み込んでいきましょう。受講後には、「なるほど！こんなふうに頭を動かせばよかったんだ」という感想は得られるはず。とすれば、後はどうすべきなのか…。その続きは講義で、ということにしておきましょう。

添削付

主な学習項目

1. 共通テスト攻略の確認
2. 二次試験対策 I 二行問題攻略
3. 二次試験対策 II 120字問題攻略

担当講師より一言

ある生徒の言った、「東大の問題は、こうしたら解けるといったものではなく、こんなふうに頭を使える人が解けるんですね」という言葉が頭に残っています。そんなふうに関心は、入試現代文などという小さなターゲットの突破のためのみならず、この暗い時代をヴィヴィッドに生き抜いていくための最大の武器にもなるんじゃないだろうかとも考えています。ものには適切な時期というものがあります。我々のように年をとってくるとできないことも皆さんなら可能です。そんなふうに関心を持って生きていく「頭」をいつ創り上げるか？ — 今でしょ。

※新規受講生は事前に「プレ講座」の「東大現代文」を受講のうえ授業をご受講ください。

東大古文

担当講師

東進ハイスクール講師

栗原 隆 先生

シーズン2 古文の構造 講義90分×2回+添削演習30分(*テスト形式 講義終了後に実施)

t-POD



古文の構造について考えてゆきます。どのような文でも分析できるようにしましょう。また、敬語法や和歌の修辞法等の古文特有の特殊な表現をマスターしましょう。

添削付

主な学習項目

1. 述語中心構造を持つ日本語
2. 述語の統語構造
3. 敬語のシステム
4. 和歌の解釈とは

担当講師より一言

言うまでもないことですが、古文いいえ日本語には「構造」があります。「文法」は暗記して終わりではありません。日本語の構造と機能を理解するのが「文法」です。これなしには正確な解釈はありません。

※新規受講生は事前に「プレ講座」の「東大古文」を受講のうえ授業をご受講ください。

東大物理

担当講師

東進ハイスクール講師

苑田 尚之 先生

“素朴な素粒子論”の表現方法としての運動学と因果律としての運動方程式の正しい理解。(90分×4回)

t-POD



新年度プレ講座で解説したことをベースに因果律である運動方式について、正しい理解をしてもらいたい。結局「力を正しく見つけ、運動方程式をかけること」が、Newton力学のスタートであるということを実感してください。

主な学習項目

1. 運動学
2. 力の現れ方
3. 運動方程式

担当講師より一言

大学入試後の物理学を見据えてこの美しい学問と真正面から対峙してみよう。受講者の中から物理学を志す人や物理学に興味をもつ人が一人でも増えることを願って今年も授業を進めていきます。

※新規受講生は事前に「プレ講座」の「東大物理」を受講のうえ授業をご受講ください。

東大化学

担当講師

東進ハイスクール講師

大西 哲男 先生

化学的センスを身につけよう。(90分×4回)

t-POD



無機化学反応を体系的に学習します。東大で出題される無機・理論の総合問題を完答するためのベースになる内容です。化学反応式を考えて構成する方法を学習していく中で、化学的センスが身につく、問題を読む力もアップし、今後の学習がかなり楽になるでしょう。

主な学習項目

1. 酸塩基反応
2. 酸化還元反応
3. 沈殿生成反応
4. 錯イオン生成反応
5. 分解反応
6. 気体の製法と性質
7. 工業的な反応

担当講師より一言

この講座に関しては予習はいりません。講義では「道具の使い方」を説明します。道具を使いこなせるようになるには練習するしかありません。徹底的に復習をしてください。このテキストをきちんと克服すれば、理論化学についてもかなり成績が伸びるはず。がんばりましょう。

※新規受講生は事前に「プレ講座」の「東大化学」を受講のうえ授業をご受講ください。

第 I 期講座 講座紹介

東大特進化学(反応式)

担当講師

東進ハイスクール講師

鎌田 真彰 先生

個体の問題研究 (90分×2回)

t-POD



基本となる化学結合を復習しながら、東大入試でよく問われる固体（特に結晶構造とそのエネルギー）の問題を研究します。

主な学習項目 固体

担当講師より一言 通常の講座とは異なった順ではありますが、基本事項を再確認しながら、東大入試で時間内に高得点を取るために必要な力と技術が身につくように講義していきます。

※新規受講生は事前に「プレ講座」の「東大特進化学」を受講のうえ授業をご受講ください。

東大世界史

担当講師

東進ハイスクール講師

荒巻 豊志 先生

東大の出題傾向を把握し、覚えた知識のつながりを知る。(90分×6回)

t-POD



世界の一体化が進んでいく姿をしっかりと捉える

主な学習項目 12世紀までの世界（ヨーロッパの成立、イスラームの拡大、東アジア世界の形成）

担当講師より一言 世界史学習において自学しにくいところを中心に講義していきます。東京大学の入試傾向に即して不要なところははっきりと切り捨て重要な部分だけを掘り下げて講義していきます。テキスト問題の予習を忘れないようにしておいてください。講義はおまけみたいなものです。君たちにとっては問題が解けなければ話にならないわけで、どの程度自分で問題にアプローチできて、どこが足りなかったのかを自覚していかないと実力はつきません。予習の仕方などはプレ講座で説明していますのでそちらを参照してください。

※新規受講生は事前に「プレ講座」の「東大世界史」を受講のうえ授業をご受講ください。

東大日本史

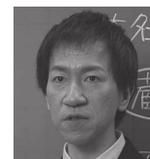
担当講師

東進ハイスクール講師

山中 裕典 先生

東大日本史の古代史分野をマスターする (90分×4回)

t-POD



この講座で、古代史分野の典型的テーマを把握し、条件文利用型の形式にアプローチする方法を身につけましょう。あわせて、天皇家と藤原氏の関係や、荘園公領制の仕組みなど、政治史や社会経済史の重要テーマについても図解板書を用いた解説をおこないます。提出課題の答案を作成してから授業に臨んでください。

主な学習項目 1. 東アジアと古代日本 2. 古代国家の形成、律令制度
3. 貴族社会の形成、地方社会の変容 4. 古代文化史

添削付

担当講師より一言 論述式問題をマスターするには、方法論を学んだら、とにかくまず書いてみることで、そして、添削を通して答案に対する適切な評価を受けること、以上2点が大切です。添削で受けた評価を咀嚼して、次の問題にチャレンジしていく、そういった学習サイクルの第一歩を、勇気を持って踏み出しましょう。

※新規受講生は事前に「プレ講座」の「東大日本史」を受講のうえ授業をご受講ください。

東大地理特講

担当講師

東進ハイスクール講師

村瀬 哲史 先生

東大地理攻略への大圏航路～地形と気候～ (90分×4回)

t-POD



東大地理では「この地形はどのように形成されたのか」、「この地域にはどうしてこの気候が分布するのか」といった成因に加えて、地形や気候が「人間生活とどう関わっているのか」についても出題されます。地理の点数を大きく伸ばしていくためには地形と気候の理解が必須です。

主な学習項目 地形、地形図の読図、気候

担当講師より一言 地理にかかる時間はあまりないと思います。「何でそうなるのか」という理由を丁寧に説明しますので、授業中にしっかり理解してください。一度しっかり理解できたことはなかなか忘れないものです。しばらくたって忘れたとしても、少し復習するだけですぐに思い出せるものですよ。

※新規受講生は事前に「プレ講座」の「東大地理特講」を受講のうえ授業をご受講ください。